



Enjoy!

~感性を磨く、感動を見つける~
Arts & Entertainment

ほんの少しの好奇心と最初の一歩を踏み出す勇気—
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

Contents

- Enjoy ! Arts & Entertainment**
- 01 幽玄なる能舞台へ
あなたを誘います
- 05 WALK ON 伝説と歴史の舞台を歩く
野路 草津市
- 06 Recommended Files 今月のオススメ
鮓割烹 たつみはし 京都市
- KEIBUN友の会会員特典のご案内
- 07 イベント／bjリーグ／シネマ／アート／スポーツ／
ゴルフ／旅行／レジャー／健康／カルチャー／グルメ
- 25 プレゼント／Reader's Letters

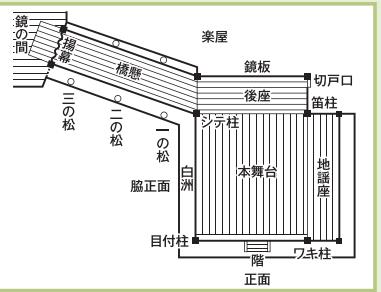
●表紙【Amazing! Museum～感動空間への招待①】
ウィーン美術史美術館(オーストリア)

ヨーロッパを中心に700年もの栄華を誇ったハプスブルク家の歴代皇帝が収集した絢爛たるコレクションを收藏するウィーン屈指の美術館。中でも神聖ローマ帝国皇帝ルドルフ2世が集めたブリューゲルの作品は世界最大級だ。



異次元の時間と空間をもつ
唯一無比の宇宙。

緞帳や幕がない能舞台は、実にシンプルな空間である。かつて野外にあったため、それを再現するために、舞台には屋根があり、演能に使用されない白洲(しらす)や階(きざはし)などの名残がある。本舞台は京間三間(約6m四方)の広さで、役者が控える鏡の間と本舞台は橋懸(はしがかり)と呼ばれる欄干のある渡り廊下で結ばれている。演目によってこれは時には現世と過去をつなぐ道となる。



あまたある舞台芸術のなかで、能は独特の世界観があり、初心者には敷居が高い。教養として古典芸能に接してしまっためか、知識がないと理解できない、そのため足を踏み込めない聖域がそこにあるように感じてしまう。しかし、決してそんなことはない。その空間で繰り広げられる不思議な物語、抑制され精緻を極めた表現の美しさは、そこに身を置いてみないとわからない、究極の感動体験である!!

幽玄なる能舞台へ
あなたを誘います

幽玄なる能舞台へあなたを誘います

能の世界が体感できるスポット!!

大津市伝統芸能会館

大津市にある伝統文化の情報発信拠点。館内には本格的な能舞台があり、能・狂言をはじめ、邦楽、舞踊などの芸能に幅広く利用されている。能・狂言の自主事業公演は人気があり、多くの人たちに伝統芸能にふれる機会を提供している。

大津市園城寺町246-24 ☎077-527-5236
http://www.dentogeinokaikan.net/
月曜休館

今重屋敷能舞館

長浜・北国街道にある酒蔵を修復再生した能の展示場。1階には1/2スケールの能舞台を設け、隣の部屋では能に関する解説、情報をパネル展示、謡や仕舞、能面打ちの教室を開催している。2階には地元の方々が所蔵する装束や能面をはじめ、「天下一」の称号をもつ面打・近江井関家(長浜市七条町が発祥地)2代目作のレプリカを展示している。

長浜市元浜町23-17 ☎0749-50-1272
http://noubukan.web.fc2.com/
水曜定休、一般500円・中高生200円

2階には能装束や能面(能面作家・伊庭貞一さんの作品)を展示。

伊庭さん監修のもと三次元で再現した近江井関家の能面「茗荷悪尉」(左)「大天神」(右)。



近江は都に近く、水運に恵まれた琵琶湖があり、霊場として信仰を集めた寺社や歴史的な名所も多いことから能の演目の舞台となることが多い。

近江を舞台にした物語でもっと身近に感じてみよう

近江は都に近く、水運に恵まれた琵琶湖があり、霊場として信仰を集めた寺社や歴史的な名所も多いことから能の演目の舞台となることが多い。



序の舞に秘めた恋慕… 能の世界こそ能の真骨頂

近江は都に近く、水運に恵まれた琵琶湖があり、霊場として信仰を集めた寺社や歴史的な名所も多いことから能の演目の舞台となることが多い。

近江を舞台にした物語でもっと身近に感じてみよう

Step3 身近なテーマを探す…

シュミたまもの。例えば、スペイグーマンのように白い糸を繰り出す『土蜘蛛』は、能を知らない人でも有名な場面だろう。義経と弁慶の一役をのせた船に平家の亡靈が襲いかかる『船弁慶』も迫力満点。初心者にはテンポが速く、見せ場の多いこのような切能物がおすすめ!!

なった場所も少なくない。
大津の粟津は木曾義仲の終焉の地である。義仲の愛妾・巴御前の靈がこの地で討死にした男を偲んで舞う『巴』、義仲とともにこの地で果てた今井四郎兼平の靈が現れる『兼平』など、史実と重ね合わせて観るものもある。

行方不明の子と物狂いとなつた母が三井寺で再会する『三井寺』、大津の浜で少年僧が人買いから少女を救う『自然居』など、能面打ちの教室を開催している。2階には地元の方々が所蔵する装束や能面をはじめ、「天下一」の称号をもつ面打・近江井関家(長浜市七条町が発祥地)2代目作のレプリカを展示している。

これだけは見逃すな!!

Step4 これが見逃すな!!

士』など、ヒューマニズムあふれる作品もある。神様の化身が登場して、後半その正体を現して神社などの縁起を語る脇能物には『竹生島』『白鬚』などがある。私たちの暮らす身近な場所が舞台といふだけでも、能の物語の世界に入りやすいだろう。

だ。三番目の能物はほとんど女性が主人

公で『幽玄』という表現がぴたり。『序の舞』と呼ばれる叙情性に富んだ舞は大きな見所である。

『熊野松風は米の飯』という言葉があるように、『熊野』『松風』は誰にも好まれる名曲で、何度も観てもあきらない。特に『松風』は、須磨に流された在原業平の寵愛を受けた一人の海女の靈が、行平へのひたむきな恋心を語るうちに物狂いとなつて恋慕の舞を舞うクライマックスが必見である。

在原業平とその妻の純愛を描いた『井筒』や、若菜摘みの女に静御前の靈が取り憑き、義経を想つて鏡映しのように二人の女が舞う『二人静』など、名曲が数多い。

能の美しさと奥深さが少し分かってきたら、物語のあらすじやその背景を少し予習し、目の前の舞台とじっくり向き合ってみよう!

松風(撮影:牛窓雅之)／吉浪壽晃(右)、寺澤幸祐(左)



能樂堂デビューの前に、野外の能を体感してみよう。

能樂堂で見るものだと考へがちだが、意外と身近な神社にも能舞台がある。例えば、毎年正月3日、多賀大社の能舞殿では「翁始式」と呼ばれる行事があり、天下泰平、五穀豊穣を祈る能『翁』が奉納される。初詣で目にしたことがある人もいるのではないか。

能は観阿弥・世阿弥父子によって大成された舞台芸術だが、そのルーツは猿樂と呼ばれ、中世には近江を活動拠点とす

能樂つて何だろう? 考えすぎて頭でかちになるよりは、まずは自分なりの感性で能を体感してみよう。

能樂堂で見るものだと考へがちだが、意外と身近な神社にも能舞台がある。例えば、毎年正月3日、多賀大社の能舞殿では「翁始式」と呼ばれる行事がある。例え、天下泰平、五穀豊穣を祈る能『翁』が奉納される。初詣で目にしたことがある人もいるのではないか。

能は観阿弥・世阿弥父子によって大成された舞台芸術だが、そのルーツは猿樂と呼ばれ、中世には近江を活動拠点とす

能樂堂デビューの前に、機会があれば近くの神社の催しに出かけてみるのもいい。特に野外で催される薪能は格別の雰囲気があり、幽玄な能ならではの世界を満喫できる。

能は極めて抽象的な表現で、観客の想像力に委ねる部分が多い。そのためには少しばかり予備知識が必要になる。

能には時系列で物語が進む「現在能」と現実と夢といった二つの場が交差する「夢幻能」と呼ばれる定形がある。夢幻能は、主役(シテ)が亡靈や神仏、鬼精靈など、前場で主役の化身が現れ、後場で本体を現し、昔を回想したり再現する。このパターンを覚えておくとわかりやすい。

能の正式な上演形式は、最初に儀式的要素の強い「翁」があり、脇能物、修羅物、曼物、雜能物、切能物の五番立てで、これに狂言をはさむ。この五番目の切能物が、いわゆるコース料理のメインディッシュ

華やかでスペクタクル!! 見せ場の多い切能物はいかが?

まず初めに何を見る?

能樂堂デビューの前に、機会があれば近くの神社の催しに出かけてみるのもいい。特に野外で催される薪能は格別の雰囲気があり、幽玄な能ならではの世界を満喫できる。

古典芸能の高い壁を越えて能の深遠なるワンダーランドへ



船弁慶(撮影:金の星 渡辺写真場)／吉浪壽晃(シテ)、江崎金治郎(ワキ)、井上裕之真(子方)、曾和尚靖(小鼓)、石井仁兵衛(大鼓)、前川光長(太鼓)、井上裕久(後見)

いつ、どこで見る?

Step1



1951年大津市生まれ。99年から能面打ちを始める。2004年より伊庭能面教室を開講し、能登川、草津、宇治、長浜などに教室を展開。05年「滋賀能楽文化を育てる会」を発足させ、能楽の普及・啓発に取り組む。同年国民文化祭(福井県)「能面の祭典」国民文化祭実行委員会会長賞、13年「第七回島熊山能面祭」能面公募展」大賞(大槻文蔵賞)受賞。

「滋賀には近江猿樂
長年勤めた会社を
退職し、木彫教室で能
面打ちを勧められた伊
庭さんは、能の歴史を
調べていくうちに、近江
の能楽文化の伝統とそ
の奥深さがわかつてき
たという。

る能面を楽しんでみて
ください」

能面作家
伊庭貞一

Professional's Eye

「能面は、能役者が面をつけ
演じることで喜怒哀楽の表情
が生まれます。舞台で使って初
めて命が吹き込まれるわけで
す。能面公募公演で私の入賞作
「筋怪士」を『項羽』でかけても
らった時、本当に目が動いている
ようで、能面が生きているとい
うのはこういうことなのかと実
感しました」。能面の魅力を語
るのは能登川を中心に各地で

彫りの凹凸が少ないぶん表情の
機微が出来ますし、役者はその内
面をいかに表現するか、それが
公の内面の感情を想像しながら
鑑賞すると、より一層おもし
ろい。ぜひ生の舞台で生きてい
る阿弥・世阿弥の6座があり、観
阿弥・世阿弥に影響を与えた犬王も輩出
している。近江井関家というすば
らしい能面打ちの集団もあります
た。近江を舞台にした演目もた
くさんあるが、残念ながらあま
り知られていない。伝統ある滋
賀の能楽、能面の文化を传承
し、広めていきたいと思うよう
になりました。そのためにはまず
自分がいい能面を打たないとい
けない。その夢をこれからも追
いかけていきたい」と伊庭さん。
2005年に有志と発足し
た「滋賀能楽文化を育てる会」
では、2年に一度のペースで「能
楽能面の集い」を開くとともに
、昨年開催した県民企画提案
事業の能鑑賞会は好評を博し
た。2回目となる今年2月の
「はじめての人のための能鑑
賞」(下記参照)は内容も充実
していて、初心者にはうれしい
公演になるだろう。

舞台で役者が命を吹き込む 生きた能面を感じてほしい



能面 中将(伊庭貞一作)

初心者におすすめの能公演・講座

※チケットを取り扱っています。イベントリストをご参照ください。

|| 能へのいざない in 野洲～これであなたも能楽通～ ||

- 【第1回】1月17日(土)【第2回】1月31日(土)【第3回】2月21日(土)
- 各14:00開講 野洲文化ホール ■講師／吉浪壽晃(観世流能楽師)
- 料金／1回券(一般)2,000円、(セット・一般2枚)4,000円、(中学生以下)600円
全3回セット券(一般)5,000円、(中学生以下)1,500円

|| 第4回 能面公募公演『船弁慶』||

- 2月15日(日)14:00開演 大津市伝統芸能会館
- 出演／吉浪壽晃、有松遼一、吉浪和紹 他
- 演目／面・装束を使用しての解説(味方玄)「蟬丸」「大江山」「殺生石」、能「船弁慶」
- 料金／S席4,000円 A席3,500円

|| はじめての人のための能鑑賞 「能装束着付実演と能『船弁慶』」||

- 2月15日(日)13:00開演 滋賀県立文化産業交流会館・小劇場
- 司会・ナレーション／井上由理子
- 演目／①県内能楽愛好家、滋賀県立大学能楽部による謡
仕舞発表、②解説「平家物語と船弁慶」講師：いかいゆり子、
③滋賀能楽文化を育てる会による能面解説、④観世流能楽
師による着付実演、⑤能舞台、シテ、ワキ、地謡、お囃子等の
解説、⑥能「船弁慶」公演、⑦能装束・能面展示(ロビー)
- 料金／一般1,800円、セット(2枚)3,600円